

米国軍産複合体に対するコスモポリタンの抗い

私たちはロシアによるウクライナ侵攻に直面して、この戦争を人類最後の戦争にしたい、という思いで改めて戦争の研究に取り組みました。そこで得た結論は、冷戦以降の現代の戦争は、その火元が軍産複合体（米国、ロシア）にあること、したがって戦争の廃止のためには軍産複合体に対する抗いが必要であるという結論に到達しました（セミナー現代世界を読む4・5参照）。そして、日本語に訳されている軍産複合体批判の文献の要約をサイトにあげて、この問題についての関心を組織する活動に取り組みました。

この活動とは別に、米国の核の傘に入っている日本人として、日本が外交に於ける自主性を発揮することがこの抗いの前提になると判断し、日米間に存在する日本国憲法を超える不可視の拘束力の可視化をめざし、「日米の安全保障体制にかかわる外交文書資料集」を作成しました。これはまだ顕在化してはいない自主外交のための抗いの準備作業でした（セミナー現代世界を読む6参照）。

そのあと、自主外交のための抗いと同時に、米国軍産複合体とのコスモポリタンの抗いの準備も不可欠だと判断し、その呼びかけを始めたときに、ロバートケネディジュニアの大統領選立候補のニュースが飛び込んできたのでした。JB プレス 2023 年 5 月 12 日掲載のインタビューで、ケネディは次のように述べていたのです。

「米国の外交政策は破綻している。国外にある 800 の米軍基地を閉鎖し、直ちに米軍を帰還させて、米国を模範的な民主主義国家にすべき」

私たちはこのニュースに対して直ちに応答すべく、HPにアクセスし、外国人なりの応援を開始することにしました。

<https://www.kennedy24.com/>